



碧南ロータリークラブ週報

第2959回例会 令和2年10月21日(水)

- 会長 岡本 明弘
- 幹事 鈴木 泰博
- 会場監督(SAA) 服部 弘史

2020-2021 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 林 俊行・石川鋼勇・牧野勝俊



ロータリーは機会の扉を開く

●本日のお弁当

大正館

会 長 挨 拶

失礼致します。朝晩が急に寒くなってきました。今日は暖かいです。段々と日中の気温も下がってきました。会員の皆様には風邪などを引かれないようにお気を付けいただきたいと思います。



岡本明弘会長

さて、昨日（2020年10月20日）は東京 RC の創立記念日です。即ち、日本のロータリーが 100 周年を迎えた日です。日本最初のロータリークラブは東京 RC ということで、1920年10月20日にチャーターメンバー24名で設立されました。初代会長は米山梅吉氏、幹事は福島喜三次氏でした。福島喜三次幹事は元ダラス RC 会員で、日本人初のロータリアンであります。ここから日本のロータリーが始まりまして、本年度7月末現在、日本全体で2,238クラブ、会員数86,089人まで拡大してきております。100年前の1920年は、1918年から蔓延しましたスペイン風邪が世界を襲った時期でありまして、正に今のようなコロナ禍の状況で、日本のロータリーが立ち上がったのかなと思います。日本のロータリークラブの始まりと碧南 RC が伊勢湾台風の直撃を受けての始まりに重なるものがあるのかなと思います。日本のロータリー100周年に心からお祝いを表したいと思います。本日は日本のロータリーが100周年を経過した最初の日となりますので、碧南 RC 節目の50周年に会長をされました平岩統一郎会員に卓話をお願いしております。よろしくお願い致します。

本日の1枚の写真は「碧南 RC の記念事業」です。日本のロータリーが100周年記念事業をやりますので、碧南 RC 創立から節目の年に行った記念事業を簡単に紹介したいと思います。1969年、10周年記念事業は碧南警察署へパトロールカーを寄贈しております。20周年記念事業は碧南市文化会館へブロンズ「青年」を寄贈しております。30周年記念事業は碧南

市民病院へ陶壁画と碧南市役所前にモニュメントポール時計を寄贈しております。40周年記念事業は碧南市役所新庁舎市民ホールへ彫刻「すばらしき日々」を寄贈しております。そして、50周年記念事業は碧南市藤井達吉現代美術館へ彫刻「藤井達吉翁像」神戸峰男先生作を寄贈しております。60周年記念事業は市内小学校へ防犯カメラと楽器整備費を寄贈しております。この記念事業なんですけれども、「記念とは念を記す」、「念とは今の心」と書くということを碧南 RC 第 30 代石川八郎右衛門会長が記念誌の中で書かれております。碧南 RC の歴史がその当時の心として、記念事業に表れているのではないかということをお伝えしまして、本日の会長告知と致します。

本日もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ガバナー事務所経由、愛知県警察本部生活安全総務課様より愛知県警察公認アプリ「アイチポリス」リニューアルのお知らせが届いております。
- ・ 碧南市文化財課様より「令和 2 年度 碧南市文化財展<解説> 矢作川開削と下流域村々の変容」と、文化財展のご案内が届いております。観覧無料ですので、是非ご覧いただければと思います。



鈴木泰博幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 11 名) 出席者 56 名	
出席対象者 56 / 61 名	出席率 91.80%
欠席者 9 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- | | | |
|--------------------------------------|---|--|
| 岡本 明弘君
藤関 孝典君
鈴木 泰博君
伊藤 正幸君 | } | ㊦日本のロータリー創立100周年「日本ロータリー100周年、超我の奉仕に魂を！」のもと、日本中のロータリークラブで祝い、共に発展を目指したいと思います。 |
| | | 10月31日からの文化会館・文化財展「矢作川開削と下流域村々の変容」の開催に当たり、解説書に刊行の挨拶を載せていただきました。郷土の人々が開削による流路の変更という大きな環境変化をいかに受け入れ、そして地域の発展へと結び付けたか。三河酒、三河木綿、三州瓦など矢作川流域で生産された上質な生産物が「下りもの」として人気を博し、他国のくだらないものの語源となった産品と一線を画していた郷土の先人達の伝統産 |

業が今に受け継がれていますことを、あらためてありがたく存じます。

平岩統一郎君

卓話をします。

木村 徳雄君

へきなん広報に当社の記事がのりました。市道の清掃美化活動が表彰された事です。たまには、良い事もあります。ありがとうございました。

卓 話

「一米山月間— ロータリークラブ一期一会」

会員 平岩統一郎君



平岩統一郎君

失礼致します。先程、岡本会長から話がありましたけれども、今年度の第1例会の後に岡本会長から「卓話で昔のロータリークラブのこと、特に家族会について話してほしい。」と言われまして、二つ返事で受けたものの、先日、72歳になりまして、昔のことを忘れちゃっておる訳ですけども、何とか思い出しながらお話をしていきたいなというふうに思いまして、今日に至った訳でございます。

お手元の碧南 RC 歴代会長・幹事という資料をご覧になっていただきますと、1959年の会長に平岩慶一、幹事に石川隆夫さんと書いてありますが、平岩慶一は私の父でございまして、ここから碧南 RC が産声を上げる訳でございます。しかし、この前がありまして、平岩慶一は刈谷 RC のメンバーであった訳です。その刈谷 RC が何年前にできまして、豊田自動織機の社長の石田退三さんが初代会長で、幹事はデンソーの社長の林 虎雄さんでした。平岩慶一は刈谷 RC のメンバーに一度なって、そうしたら、刈谷 RC から碧南にもロータリークラブを創立したらどうかという打診があって、1959年に碧南 RC ができました。平岩慶一が刈谷 RC に所属している時に私は家族会に参加しております。平岩慶一は1916年生まれなんですけれども、1955年、39歳の時に碧南商工会議所の第3代の会頭になりまして、それから9年間務めました。そして1959年、43歳の時に碧南 RC を創立しました。1959年9月27日、これは伊勢湾台風の日なんですけれども、その日にチャーターナイトが行われました。運悪く前日から伊勢湾台風が接近してきまして、準備していたものが全て吹き飛ばしてしまいました。そして、当日にできた記念品や料理などをロータリアンが救援物資として各所へ配ったのが、最初の奉仕活動の1つと聞いております。

1960年1月20日に衣浦温泉「吉文」という料理旅館で、第1回家族会をやっております。当時はディズニーランドやナガシマスパーランドはございませんので、地元の畳の上で何とか面白くせにゃいかんということで、親睦委員さんが考えられました。第1回か第2回の時に名古屋にサーカス団がきておりまして、親睦委員さんがサーカス場に行って、サーカスに出ている動物を連れてきました。皆さんびっくりしておりまして、未だに憶えております。そういう時に家族を皆さんに紹介しまして、1年に1度、家族写真を1冊作りまして、楽しんでいたということでございます。つい最近までお酌をしたり、子供たちへお菓子を配ったりも親睦委員さんがやっておりますので、全てをやっていたのではないかなと思います。

1960年5月6日に第1回春の家族会で、三重県の御在所へバスで行きました。観光バスで

行って、現地の山などを見まして、吉文さんみたいな所で宴会やって帰ってくるということでございました。私が会長をしました年の親睦委員が新美雅浩さんで、50周年だからということで昔のような観光バスで行く家族会を計画していただきまして、信州南木曾温泉「ホテル木曾路」で開催されました。資料を見ますと、親睦委員さんが一生懸命に計画していただいたことが伝わってきます。今日の演題を「ロータリークラブ一期一会」にしたのは、人と人との出会いは1度しかないものだから、相手に対して精一杯の誠意を尽くすという気持ちでやった方が良くというふうに思っている訳でございます。

碧南 RC 歴代会長・幹事の資料をもう1度見ていただきますと、多くの方が亡くなられましたが、ご子息やお孫さんが会員に見えますし、そうじゃない方もおられますが、ずっと碧南 RC がこのようにやってきたということでございます。今、勤続47年、皆出席の山田純嗣さん、34年の加藤良邦さん、31年の私ということで、だいぶ上になってきましたけれども、碧南 RC が歴史を辿ってきたということでございます。初代会長の平岩慶一は「7万人の小さな町だから1つのクラブで結束した方が良く」とよく言っておりました。ということで、是非関係のある方を勧誘していただき、会員を拡大していただきたいと思う次第でございます。

ロータリークラブのメイクアップなんですけれども、1992年に碧南市と姉妹都市の北海道の由仁町に由仁 RC ができまして、チャーターナイトの招待状が届きまして、当時の会長の新美孝さん、幹事の山田純嗣さん、SAAの杉浦健次さんと私の4名で行って参りました。前日、札幌に泊まった訳なんですけれども、由仁 RC が気を遣いまして、札幌まできてご馳走していただきました。1993年には碧南 RC に所属されていた保険代理店をやって見えた方から、東京 RC の会長をよく知っているからということで誘われまして、鈴木洋さんのお父さんと一緒に東京 RC に行って参りました。会場は帝国ホテルで、所属している方は大体、一部上場の社長・会長・相談役、外国法人の代表ということで、良い経験をさせていただきました。東京 RC は聖地でございますので、是非1度行かれると良いのではと思います。

やっぱり何をやるにも全力投球でやると色んなことが開けていきますので、是非ロータリーを楽しんでもらいたいというふうに思います。我々の大先輩でございます山中寛三先生に生前、「先生にとってロータリークラブとは何ですか？」とお聞きしましたら、「ロータリークラブは私の人生そのものです。」とおっしゃられました。榊原義嗣先輩は「美味しい食事です。」とおっしゃられました。この2つがいつも頭にあります。ということで、12時30分から13時30分まで食事をしながら、ロータリーを楽しんでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いをしまして、卓話を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

次回例会案内

令和2年11月4日（水）

クラブフォーラム「ロータリー財団プログラムについて」

地区資金推進委員会 委員長 野村紀代彦氏